

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

LocAI Dive

取組概要

取組名 : 農業用生成 AI の開発と活用
実施地域 : 愛知県豊川市
アクティビティ種別 : ⑩農福連携等の取組
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献 (人的 金銭的 物的・技術的)
取組実施日・期間 : 2025年9月30日

取組詳細

取組の目的・ 解決したい課題	農業の担い手不足、高齢化及びそれに伴う地域農業の生産性低下という課題に対し、AI 技術と福祉人材を組み合わせることで、生産性の向上と新たな雇用・就労機会の創出を目指す。加えて、刈草堆肥と工場由来の二酸化炭素の活用を通じて環境負荷の抑制を図り、農業を通じた持続可能な地域社会の維持に貢献する。
インプット	<input checked="" type="checkbox"/> 東京大学農学部学生 1 名による農業用生成 AI「栽培 AI」の開発 <input checked="" type="checkbox"/> スプレーマム生産農家 1 名による属人知の聞き取り
アクティビティ	<input checked="" type="checkbox"/> J Aひまわりスプレーマム部会員に「栽培 AI」アプリの導入を促進。利用者は 15 名であり、うち 1 名が新規就農者。「栽培 AI」会話数は 300 回/月以上。 <input checked="" type="checkbox"/> 「栽培 AI」からの提案（経営改善、栽培改善、新規事業開拓）を実践。
今後の展望	今後 3 年間で、AI 活用による農福連携モデルを J Aひまわりスプレーマム部会員に展開し、農福連携の導入事例を 5 件に拡大する。また、刈草堆肥の利用モデルのマニュアル化により、地域内で広範に普及させるための仕組みを構築し、新規就農者 2 名の獲得を目指す。